

# TAMPOROPOPO



☎869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100  
社会福祉法人 三気の会 三気の里

### 講演者と実践者

理事長 田中 稔

年明け早々、一月九日県立劇場で佐々木正美先生の自閉症の講演会がありました。当日、別の行事があり知り合いのお母さんのとられたテープを聞かせて頂きました。

新聞によると自閉症児に対する新しい教育法「TEACCHプログラム」の紹介という事で親、教師等280名が参加されたとの事です。これだけ多くの方が参加されるという事は、自閉症という障害の理解、処遇の困難さが基本的

に有り、各方面の関心の高さを示しています。この20年間、いくつもの新しい療育法という触れ込みで講演会が開かれて来ました。自閉症の講演会はいつも驚く程多くの聴衆を集めます。しかし、子供達の現状はあまり変わっていません。

講演会の中で、私達も大切にしているいくつかの事が述べられています。左記の様な事です。

療育に従事する者は巾広い見識を有する事、自閉症は脳の発達障害である事。子供の行為や表現を心の障害や傷跡等と軽々しく結び付ける心理療法、精神分析が犯し

た誤りを世界最高の精神分析医ベッテルハイムの自殺という例を挙げて忠告しています。療育の中心は家庭であり保護者である事。コミュニケーションの障害という面から通い合う方法を見いだし育てる事。指さし、サイン、模倣、カード、文字、特に言葉の能力を大切にすること。目標と計画を必ず持つ事。(ただ遊んでやる事は何の意味も無い)こちらからの指示は短く、具体的にすること等々です。

TEACCHの考え方は自閉症という障害があっても家庭、学校、職場、社会をその子に合う様に交えればその子は地域の中で生活していけるというものです。健常者と障害児者の共生という考え方で、大変立派な考え方です。この子供の現状を認めて社会の方を子供に合わせるという考え方は、一方ではただ遊んでいる程度の療育をしている者にそんなに努力し工夫し汗をかかなくても良い、やり過ぎると子供の心に傷をつけるなどといった逃げ道を用意する事になります。

12月のたんぼぼにも書いた様に、共生には子供の能力一杯に延ばす働きかけとその結果たどりついた

姿とを受け入れてあげるといふ二つの面がなくてはなりません。

アメリカの風土、文化、社会の中で育ったTEACCHを日本でやるとすれば教育、福祉、行政全てが交わるという事が求められます。ところで、日本で30年前から障害者が地域の中で生活するという共生を実践しておられる所があります。私の尊敬している近藤原理先生のやっておられる「なずな園」です。これこそが日本式TEACCHであると思います。

## ボランティア

### 学習会迫る！！

3月20日(日)三角町にある“自然の里”へボランティア作業に出掛けます。春の日差しを浴びながら皆と一緒に作業しませんか？多数のご参加お待ちしております。



# 療育シリーズ

頭を洗う

團長 土井尚典

入浴の時間に團生の頭洗いをしていると、髪の毛を隅々まで洗える人と部分を洗う人、指先に力が入っている人やただ撫でている人など色々である。頭の洗い方を見ているとその人がもっているものがよく分かる。そして、指導の手掛かりが見付かったりする。

良く洗えていない部分を、指先で触って、「ここをゴシゴシ」と言うのと洗える人は触られた部分の意識化がかなり発達していると思われる。そして、そこへ手をもって来てゴシゴシできる訳である。つまり手の方も意識化が発達していることになる。

指先でチョンチョンと触って、触ったところが洗えない人に、共通の特徴がある。それはタオルへの石鹸付けが下手なことである。知能の測定基準の一つに手の平から指先に行くに従って知的能力が増して行く。つまり手の平で握る能力より、指先でものをつかめるほうが知的能力が高いのである。入浴場面でも石鹸付けを丁寧に指

導することは、知能の発達を促していることになる。

指先で触って指示しても洗えない團生には、團生の手をとって洗えていない部分に手をもって行きその手をゴシゴシと動かそうとすると、手に力が入っている團生と力が抜けている團生がいる。力の入り方も、石のようにガチガチの手やフニャフニャの手、頭洗いの指導になる程度の力の入れ方の手など様々である。

フニャフニャの手の團生にも共通点が見られる。それは重いものがもてない人が多い事である。俗にいう「腰が入っていない」のである。力は強いし、逃げ足は速いが、重いものを持たせるとからっきしだめなのである。また、雑巾絞りのようなことも下手である。指先に力が入ることは色々なことが出来る要素である。そして、全体の使い方とも大きな関係があるようである。

頭を洗うという自分では見えない部分を指導することが難しい團生に、手や足のような見える部分を洗う指導をしたら、これが結構うまく行くものである。目に見える部分から、体のいろいろな部分

の使い方や体の色々な部分の触覚を発達させることから始めることもできる。

頭を洗えることは、生きて行くうえで大事なことでないけれども、「できないので洗ってあげる」という姿勢が色々なところで出て来ないようにしたい。「できない」ことは発達を引き出す出発点である。



## スポーツ

### スニーカー

坂本信子

「スイーツ」と滑る姿はどうに入ったものと思わず、あ然とした表情で見入ってしまった。(なんて上手いんだろう)と自分のおぼつかない足元と比べて見てしまいます。「たけちゃん凄いい。」と拍手喝采。たけちゃんはそのままスルスルと滑り、手すりに手を伸ばす事なく、スタンとリンクサイドに上がる。(すごい)とまたまた拍手っ!

「凄いい」と言えたいちゃんに

は又別の凄さがありました。スケート靴を履いて立っていることが全く出来ないのに、それでも氷上ではしっかりと滑っているのです。

というか、転ばないように足を前に出しているうちに次第に加速しながら走っている状態なのですがとにかく凄いい事です。のりちゃんと言え、立って移動するのに一杯の私の腕を掴んで離してくれませんか。「倒れるじゃないか。」

「倒れるじゃないか。」といって慌てて離れるのですが、すぐに追いついて来てしまうのです。「のりちゃんのほうが上手いからね。引っぱって私を転ばせてはいけない。」と必死で訴えるのですがどこ吹く風!しかし「もう、離してよ!。」と言いつつも

のりちゃんはとってもカッコ良い人なのでなかなか内心嬉しいカップリングでした。その他しんちゃんも、ゆうちゃんもなかなか優雅な滑りを見せて、やはり私より上手い様子です。

将来、この中できつとオリンピック選手が生まれるに違いない!と明るい未来を思っ一人細くほほ笑む私でした。





### 1 班 満腹の春

春を思わせる晴天の下、1班一同三角までみかん狩りに行って来ました。行き帰りの海岸線を走る車中では海を照らす日差しが眩しく、運転手には見えないようにうつらうつら…。舟をこいでいるうちに自然の里着。金子先生の好意で、すぐに食べられるようにと甘いみかんを用意していただきました。まずは1個2個味見をしてからお土産用にと箱をしっかりと抱えてみかん狩りに挑みました。職員だけハサミを借りていたのですが「僕にも取らせてください」と言ってハサミ片手に張り切っていた論君。人の目に留まらぬ速さで食べていた俊ちゃん、龍ちゃん。大事に大事に握り締めていたまーちゃん、博君。1時間ほどして「さあ、帰るよ!」と言った時にはなんと12箱ものお土産。帰りの車もところもちぎゅと重く、満腹感と満足感も一緒に帰って来ました。

普段外に出ることの少ない1班にとって、とてもそう快な1日でした。みかんの味はどうだったかな?金子先生お世話になりました。 石丸

### 2 班 究極のペーパーがけ

「究極のペーパーがけとは?」と聞かれたら、すぐにてっちゃんの仕上げた作品を持ってきます。それ程見事です。「これでもか」というくらい職員が力をこめてペーパーをかけても、てっちゃんの見事さにはかないません。黒ずんでガサガサした状態だった板が、てっちゃんの手にかかるときめの細かい皮府のように、スベスベとして光沢をもった美しい木目が浮き出て来ます。「すごい」と手に取って触りながら見とれます。「へへへ…」とまんざらでもない笑顔を見せるてっちゃんです。2班の皆それぞれ、ペーパーをかける能力は向上しています。しゅうちゃんが、糸のこで切ってくれたものを、きれいにペーパーをかけ、作品にする。ひなにんぎょう、パズル、動く動物玩具、スプーン、キーホルダー、くまの壁掛け、コースターetc…徐々に作品の数も増えています。そのうち木工室もできあがって、片方ではスノコや椅子などを作りもう片方では小物をたくさん作る。のこぎりで板を引く人もあれば、糸のこかけをする人もある。そしてもちろんペーパーをかける人もいる。色をぬる人や金具をつける人もいる。さあーみんな、夢のウッドクラフトショップを目指して全力疾走だ! 坂本

### 3 班 春を感じて

「今日も又寒かごたるね!」とある園生の一言。毎日毎日外へ出て働く、農耕・園芸班の園生・職員にとってその日の天候はとても気になる事の一つである。

現在、農耕グループでは、椎茸の原木置き場の整備、園芸班では作業用具を管理するための小屋作りを主にやっているが、暖を取るために作業場所の近くに焚火を始めてしまうと、いざ作業に取りかかってもなかなか火の側を離れようとならないのが現状である。そういった3班にも先日待ちに待った春一番、二番と続けて吹き「あー、これでやっと暖かくなっていくなー」と思ったのもつかの間、阿蘇からの風の勢いが強すぎて作物を販売している無人販売所が倒れてしまうというアクシデントもあったが、大事には至らず復元する事が出来た。

もう春の足音がそこまで近付いて来ています。コタツで背中を丸めてじっとしている皆さん、春の匂いを嗅ぎに園に遊びに来ませんか?個性溢れる皆と農作業があなたの来園を楽しみに待っています。 木下

# 白川ライオン

## マラソン



山中美津代

2月20日(日) 大津町主催の白川ラインマラソン・5Kmコースに園生7名(雄一君・修一君・泰成君・建治郎君・博君・誠君・信之君)と職員6名が競技に参加しました。

今回で三気の里からの参加は3度目です。運動の時間(毎週金曜)に加え、火曜、木曜まで作業後、練習を行いました。2月から練習を始めたのですが、雨が降ったりとあまり練習出来なくて、どうなる事か(特に職員の方が園生に付いていけるか、完走出来るか)と不安があったのですが…。

当日は、朝から小雨が降り、スタートの「帰って来いよー」の掛声を皮切りに出発しました。700人を越える人達に交じり、皆はその波に流されるかの様に勢いよく駆け出しました。練習では見なかったようなスピードです。私も一瞬付いて行けないと思う程

です。順位は様々でしたが、皆それぞれに全力を出し切り、全員が無事完走する事が出来ました。終わってからの皆の笑顔が最高でした。皆んなご苦労様でした。



## 保護者名義懇親会

元田道雄

三気の里開園に伴って、恒例行事の一環として行われる懇親会を、理事三名が担当。理事となって、意義ある建国記念日「二月十一日、金曜日」午後四時より市内新市街「養老の瀧」にて盛大に実施する事が出来ました。

この懇親会の趣旨は、三気の里に入園者の保護者皆様相互の親睦であって、年間を通じ常に入園者の状態を把握し親身になって指導している担当職員との懇親を意味し、家庭における私生活、園での日常生活等について、場所を変え、雰囲気に乗じて「ざっくばらん」に話し合い、さらに人間関係を作る最良の意味を持つ機会であると思えます。

なおこの日は、日頃の行いが悪いのか、寒風多忙にかかわらず、午後四時には天草、玉名、八代、甲佐等各遠方より多数参加され、土井園長、保護者を併せ三十一名の皆様が時間に合わせ参加をされました。

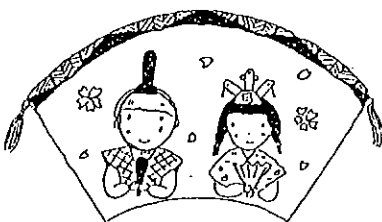
一方「養老の瀧」三階広間においては、すでに料理「寄せ鍋。刺し身盛り合わせ。酢物」等沢山配膳されており、五分後には園長の挨拶と乾杯の音頭で懇親会の趣旨にそって開宴となり、次々と出てくる料理とビール、ジュース。生

酒等でなごやか、しかも明るい会話と笑顔で盛り上がり、互いに満喫、満足感あふれる様子となって来ました。さらに、広間の片隅では、誰が呼びかけたのか二次会「カラオケ」の話が持ち上がり「行こうか。行こうか。行こうよ。」とついつい誘われているうち、約三時間の懇親会が開宴となり「養老の瀧」を後にしました。

毎日の苦勞、悩み等すべて忘れた親達は、「一年に一度」と、この日ばかりと歓楽街、新市街から銀杏通り方向へと誰かに先導をされ、心と足は向かっていました。結局「カラオケ」場に到着時に

は、男五名、女九の有志であり、缶ビール、ジュースを飲みながら次から次へと選曲。どなたもどこかで一生懸命練習されたのか得意曲メロディーにのってのそのうたいかたは歌手並上手で、拍手と歓喜に満ちたボックス内でありました。午後九時には、解散となり、本日は有意義な一日で、外は雨三々五々と、小雨の降るネオン街を後に、主人が待つ我が家に向かって消えて行きました。

平成六年度、懇親会が無事終了した事は、その目的を達したものと信じ保護者懇親会状況時の一端とします。



お礼

この度、浜永統様より洗剤等を頂きました。

研修修報告生口

田之上健一

2月9日〜10日の泊2日の日程で福岡県の志摩学園で九州・山口地区の自閉症者施設が集まった施設実践報告などがありました。山口県から「ひらきの里」福岡県から「志摩学園」大分県から「めぶき園」鹿児島県から「塚脇学園」熊本県から「三気の里」の5施設の参加があり、実践発表に対しての質疑応答も盛んに行われました。各施設とも作業面・生活面・健康面・学習訓練・行事等、色々な試みをしている事がビデオやスライドなどで分かり易い様に説明され、感心させられる事も多く、興味を保持したものは、地域の方との交流やボランティアの方への働きかけの工夫・園外実習を行うまでの取り組みなど、取り入れたいと思う事が沢山あり有意義な時間でした。我が施設での発表では「自閉症児・者のための実践キャンプ」の報告で、未熟な文面ではあったものの何とか理解してもらえたのではないのでしょうか。色んな施設の方々と気軽に話せた事が一番の収穫に思えます。

最後に主催して頂いた志摩学園の方々ありがとうございました。

研修報告II

東 正実

2月12日・13日の両日、福岡市で行われた九州・山口地区自閉症研究協議会へ今村指導員と二人で参加して来ました。朝から各講座に別れてみっちり講習が行われ、なかなかハードなものでした。いろいろな大学や病院の医師、各施設の指導員研究発表を聞いていると、自閉症児者への取り組みの多様さ、家族を含めた環境まで考慮したうえで工夫など、まだまだこれから学ぶべき事が多く、頑張らねばと痛感させられました。来年は熊本で第20回大会が行われる予定です。運営には三気の里も協力することになるかと思いますが、今大会の福岡に学び、より良い大会が行われるよう努力したいと思います。

食糧当営営業中



二月前半、厨房内は人手不足の大ピンチでした。ベテランの二人

(退職と目を思い休養)がいなくなつて、ここは残った三人の腕の見せ所といきたかったのですが、

食事の直前で「お茶が出来ていない。みそ汁に入れるねぎはどこ？」とたまにひやっとする事が何度もありました。何とか間に合つて、みんながおかわりにきて、やっと、ホッとできる三人でありました。

栄養の話 「レバー」

「レバー」はタンパク質の他に、ビタミンや鉄などのミネラル類も豊富。ことにビタミンAは他の食品と比較出来ないほど多く含まれています。特徴的なのはビタミンCを含むこと。100g中20〜30mgと野菜並のレベル。このように栄養価は申し分ないのですが、特有の「くせ」があつて敬遠されています。上手に血抜きや臭み消しをすることが調理上の最大のポイント。血管や血の塊を取り除き流水にしばらくつけて血抜きをしたら、おろし生姜やねぎ、赤唐辛子などの香辛料が入った調味液(しょう油と酒など)につけたりすると、くせがやわらぎ、ずっと食べやすくなります。

前田



退職に当たつて

高木道子

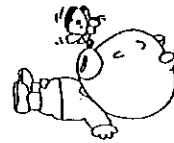
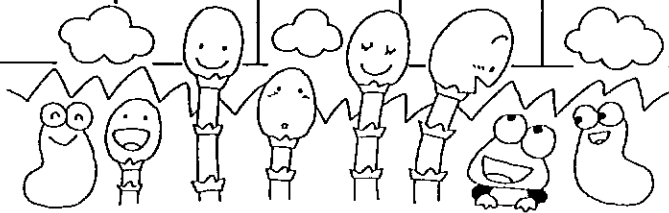
三気の里に就職してからの二年一〇カ月、いろいろなことを思い出します。仕事にも自信が持たず、厨房職員も少なかった初めのころは、忙しさと自分への腹立たしさで、よく泣いたものでした。そういう時いつも園生の皆に励まされて、頑張らなくてはと思つたものでした。

つらいときもありましたが、三気の里は、優しさと、笑顔とどこからともなく出てくるパワーでいっぱいでした。皆で力を合わせて行った行事、みんなとレクリエーションにいろいろな所にいった事など思い出します。いろいろな面で他では経験出来ないようなことも学ばせていただきました。

約三年間、みんなと過ごすことが出来たこと、父兄の方からいろいろと教えて頂いたこと、そして、三気の里の職員として、多くの方に助言を頂きながら働くことが出来たことを、とても幸せに思います。まだまだ未熟ですがこれから自分なりに頑張つて行こうと思つています。三年間本当にありがとうございました。

3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
		1	2	3 <small>まゆりちゃん の誕生日(25)</small> 2班レク	4 <small>のぶちゃん の誕生日(22)</small>	5	
6	7 <small>体育実技研修</small>	8	9	10 <small>誕生会 3班レク</small>	11 <small>のぶはるさん の誕生日(48)</small>	12 <small>帰宅日 保護者会</small>	
13	14	15	16	17 <small>1班レク</small>	18	19	
20 <small>V0学習会</small>	21 <small>休</small>	22 <small>さゆりちゃん の誕生日(21)</small>	23	24	25 <small>納内勝 帰宅バス運行 日</small>	26 <small>納内勝</small>	
27	28	29	30	31	<small>さきくちゃん、のぶちゃん、のぶ はるさん、さゆりちゃん、お誕生 日おめでとう</small>		



ボランティニア通信

日ごとに春めいて来ましたね。

小春日和の月曜日の午後、三気の里に散髪と園内清掃のボランティニアさんが来て下さいました。毎月第三月曜日に来園され、散髪をして下さるようになって五年が経とうとしています。ハサミが怖くて耳の近くは切らせてくれなかったり、バリカンの音が嫌いで使えなかつたりしていた人が、今では散髪をしてもらっている間ずっと静かに座っています。園で、散髪をしてもらう練習をして、お店(理容室)へ行けるようになった人が増えて来ました。中には一人で歩いて散髪へ行く人もいますよ。

又、今までは、家庭でバリカンで散髪していた人が、理容店へ行き、かっこよく散髪してもらったり、と五年間の成果が沢山でいます。先日の散髪でも、「〇〇君は静かに座ってられるようになったね。」「今日は、□□君は今までの中で一番上手だった。全然動かなかたね。」と褒められ、みんなの様子や成長を見て来て下さったことをとても嬉しく感じました。いつも楽しい雰囲気にも包まれている

散髪の間。〃五年間〃と一言で言ってしまうばそれまでですが、実際やってこられた時間は大きなものだと思います。毎月、みんなをかっこよくして下さいるボランティニアさんに感謝致します。  
「かっこよくなったね。」と言われテレしてしまうみんなと一緒に、毎月、第三月曜日を待っています。これからもよろしくお願いします。  
今村

- ボランティニアありがとう
- ◎フラッシング指導 森隆子
- ◎生け花 西村栄子
- ◎散髪 坂本シマ子 源造マスマ
- ◎清掃 遠山一恵 古閑由紀子 (敬称略)



(敬称略)

お知らせ  
3月20日(日)にボランティニア学習会を行います。今回、三角町の自然の里へ奉仕作業へ行く予定です。多くの方の参加をお待ちしています。3月12日まで担当(山中・今村)まで連絡下さい。

----- 編集後記 -----

編集部員が一人抜けただけで、たんぼば編集はてんやわんや。この先どうなることやら...

石丸